

# 2021年3月期 決算説明資料

---

2021年5月14日

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

## 連結損益概要

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比		新型コロナ 影響
			増減額	増減率	
売上高	10,439	10,073	▲366	▲3.5%	▲690
営業利益	350	192	▲158	▲45.1%	▲220
(取得関連費用除く)		252	▲98	▲28.0%	
経常利益	305	123	▲182	▲59.8%	
当期純利益*	142	32	▲110	▲77.5%	

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、オローラ社豪州・ニュージーランド事業の板紙パッケージ部門の買収による増加はあったものの、新型コロナの影響が大きく、前年同期比で減収となった。
- 営業利益は、オローラの取得関連費用60億円と新型コロナの影響により前年同期比で減益となった。
- 釧路工場の紙パルプ事業からの撤退に伴う減損損失と福島県沖地震に伴う災害損失を特別損失に計上。

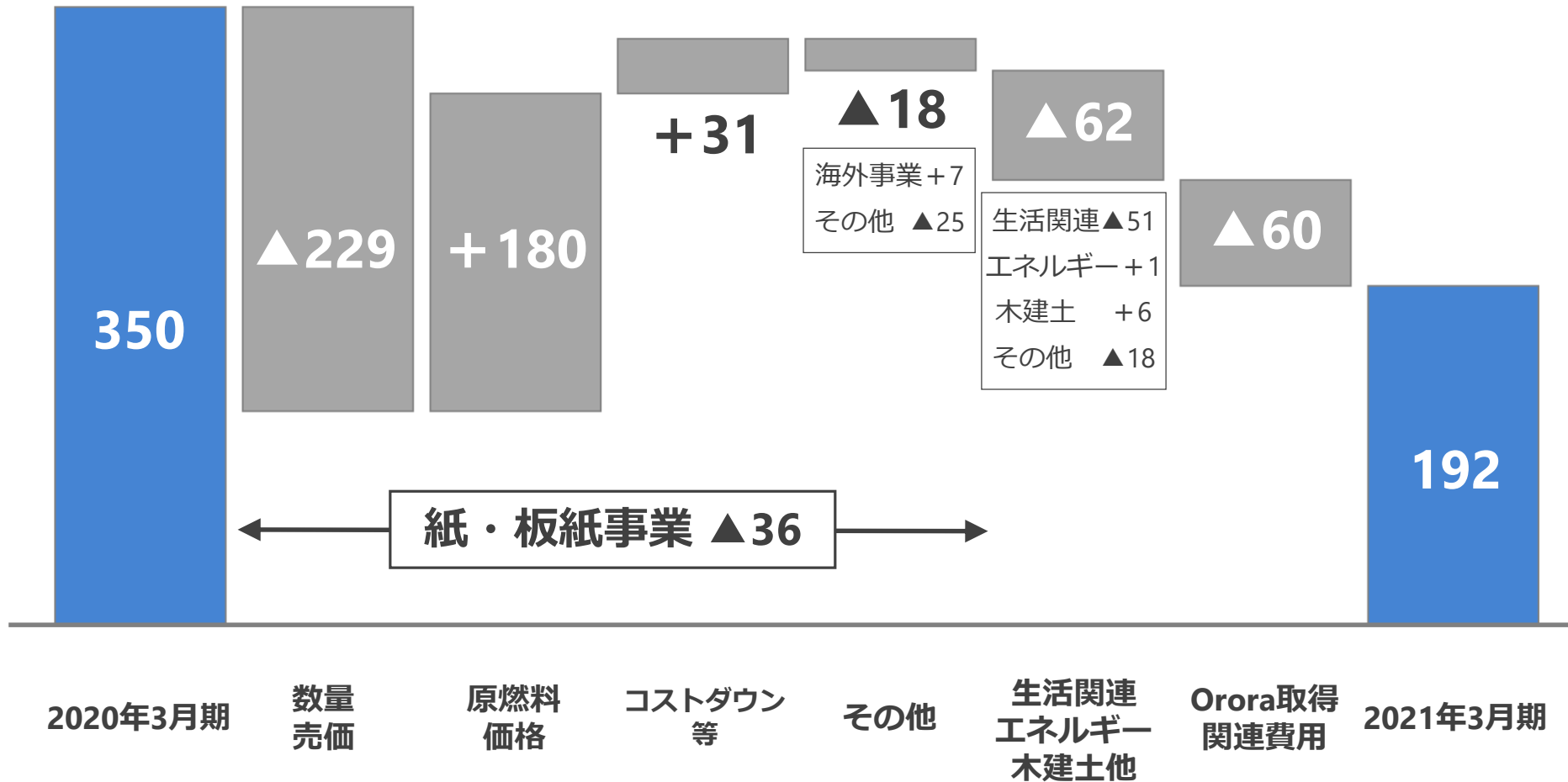
## セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年 同期比	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年 同期比
紙・板紙	6,467	5,683	▲784	61	25	▲36
生活関連	2,702	3,179	477	130	79	▲51
エネルギー	330	334	4	68	69	1
木材・建材・ 土木建設関連	616	599	▲17	59	65	6
その他	324	278	▲46	32	14	▲18
取得関連費用	—	—	—	—	▲60	▲60
合計	10,439	10,073	▲366	350	192	▲158

## 営業利益増減要因

(単位：億円)



## 2021年3月期 増減益要因内訳

(単位：億円)

数量・売価	▲229	－
原燃料価格	180	チップ 35、古紙 36、パルプ 9、重油 22、石炭 53、その他 25 (価格影響 163、為替影響 17)
コストダウン等	31	原価改善 ▲4、修繕・操業用品 ▲7、生産体制再編成 45、 労務費 0、物流費 ▲3
その他	▲18	海外事業 7、減価償却 7、退職給付費用▲13、受払影響ほか ▲19
紙・板紙事業	▲36	
生活関連事業	▲51	国内 13：パッケージ 2、家庭紙・ヘルスケア 5、ケミカル 6 海外▲64：オパール ▲44、NDP ▲2、その他 ▲18
その他事業	▲12	エネルギー 1、木建土 6、その他 ▲18
取得関連費用	▲60	－
営業利益	▲158	
営業外損益	▲24	金融収支 ▲12、持分法投資損益 5、為替差損▲17、その他 0
経常利益	▲182	

## 紙・板紙事業

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比	新型コロナ 影響
売上高	6,467	5,683	▲784	▲460
営業利益	61	25	▲36	▲150

### ● 国内事業（洋紙）

- ・ 国内販売数量は、新聞のページ数減少や印刷用紙の広告需要低迷などにより前年同期比で▲15.6%減少。

### ● 国内事業（板紙）

- ・ 国内販売数量は、加工食品・通販向けなどの需要は堅調に推移したものの、工業製品向けの減少に加え、外出自粛による一般消費の需要が低迷し、前年同期比で▲2.5%減少。

### ● 海外事業

- ・ 十條サーマル・SNPとも、新型コロナ影響で販売は減少するも、原材料価格が前年よりも下落したため、減収増益。

## 生活関連事業

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比	新型コロナ 影響
売上高	2,702	3,179	▲477	▲140
営業利益	130	79	▲51	▲55

### ● パッケージ（営業利益 前年同期比 ▲62）\*

#### ○ Opal

- ・旧APは、新型コロナの影響によりコピー用紙の需要が減少。また、輸出市況の低迷が続き、大幅な減益となった。
- ・旧Ororaは、新型コロナの影響で青果物・食肉用途の段ボール需要が減少。

#### ○ 日本ダイナウェーブパッケージング（NDP）

- ・新型コロナの影響により、販売数量減少。

#### ○ 国内紙パック

- ・新充填機設置や新容器上市による拡販、家庭用の牛乳向け容器などの需要堅調により増益となった。

\* 「オローラ社 豪州・ニュージーランド事業の板紙パッケージ部門譲受け」に関するのれん償却費を含む

## 生活関連事業

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比	新型コロナ 影響
売上高	2,702	3,179	▲477	▲140
営業利益	130	79	▲51	▲55

### ● 家庭紙・ヘルスケア（営業利益 前年同期比 +5）

- ・ティッシュペーパー・トイレットロールは、前年度末の需要増加の反動により販売数量が減少。
- ・ハンドタオルは、株式会社トライフと販売統合を行った効果や、感染予防の需要増加などにより販売が堅調に推移。

### ● ケミカル（営業利益 前年同期比 +6）

- ・機能性フィルムは、在宅勤務用のモバイル端末用途やスマートフォン用途などが堅調に推移し、販売数量が増加。
- ・溶解パルプ（DP）は、中国などの海外需要が低迷し、販売数量が減少。
- ・機能性コーティング樹脂やCMCは、自動車の生産台数回復に伴い、需要が徐々に回復したものの、販売数量が減少。



## エネルギー事業

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比
売上高	330	334	4
営業利益	68	69	1

新型コロナ  
影響

0

0

## 木材・建材・土木建設関連事業

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比
売上高	616	599	▲17
営業利益	59	65	6

新型コロナ  
影響

▲40

▲5

- ・新型コロナの影響による販売数量減少（製材品など）

## その他事業

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前年同期比
売上高	324	278	▲46
営業利益	32	14	▲18

新型コロナ  
影響

▲50

▲10

- ・新型コロナの影響による売上減少（物流・レジャー事業）

## 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2020年3月末	2021年3月末	前期末増減
資産の部合計	13,635	15,473	1,838
現預金	528	697	169
棚卸資産	1,718	1,737	19
その他流動資産	2,722	2,904	182
有形・無形固定資産	6,895	8,067	1,172
投資その他の資産	1,771	2,068	297
負債の部合計	9,769	11,226	1,457
有利子負債	6,899	8,289	1,390
その他負債	2,870	2,937	67
純資産の部合計	3,866	4,247	381
うち株主資本	3,643	3,621	▲ 22
負債および純資産合計	13,635	15,473	1,838
純有利子負債	6,371	7,591	1,220
調整後ネットD/Eレシオ *	1.75	1.86	0.11

\* 調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債：ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）

## 連結損益概要

(単位：億円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,073	10,300	227	2.2%
営業利益	192	250	58	30.0%
経常利益	123	190	67	54.8%
当期純利益*	32	10	▲22	▲68.7%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 福島県沖地震による復旧費用や、事業構造転換費用を特別損失に計上する予定のため、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比で減益を見込む。

## セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前年 同期比	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前年 同期比
紙・板紙	5,683	5,350	▲333	25	15	▲10
生活関連	3,179	3,800	621	79	110	31
エネルギー	334	300	▲34	69	45	▲24
木材・建材・ 土木建設関連	599	550	▲49	65	65	0
その他	278	300	22	14	15	1
取得関連費用	—	—	—	▲60	—	60
合計	10,073	10,300	227	192	250	58



## ■ 国内販売数量（対前年）

	上期	下期	通期
新聞用紙	▲9%	▲6%	▲8%
印刷用紙	+9%	▲5%	+1%
情報用紙	+4%	▲2%	+1%
段原紙	+1%	▲2%	▲1%

## ■ 主要原材料価格、為替

為替（米ドル）	108円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+5億円/年
石炭	85ドル/t（豪州炭ベンチマーク価格）
原油	60ドル/バレル（ドバイ）
古紙	足元の水準が継続

## ■ 減価償却費、設備投資額

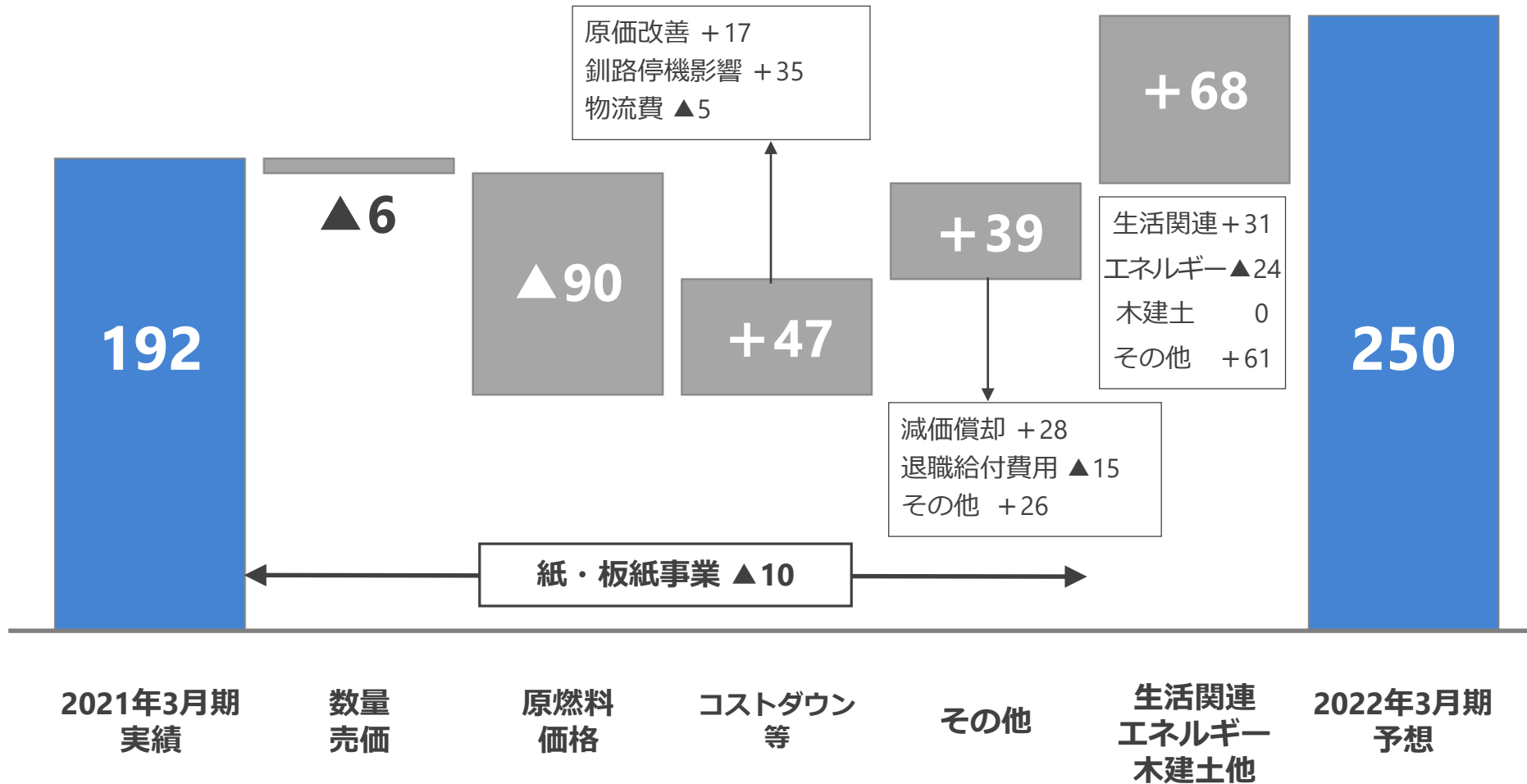
（単位：億円）

	2021年3月期実績	2022年3月期予想
減価償却費	634	670
設備投資額	579	550



## 営業利益増減要因

(単位：億円)



## 2022年3月期予想 増減益要因内訳

(単位：億円)

数量・売価	▲6	—
原燃料価格	▲90	—
コストダウン等	47	原価改善 17、釧路停機影響 35、労務費 0、物流費 ▲5
その他	39	海外事業 ▲3、減価償却 28、退職給付費用▲15、受払影響ほか 29
紙・板紙事業	▲10	
生活関連事業	31	国内▲42：パッケージ ▲5、家庭紙・ヘルスケア ▲47、ケミカル 10 海外 73：オパール 38、NDP 25、その他 10
その他事業	37	エネルギー ▲24、木建土 0、その他 1、取得関連費用 60
営業利益	58	
営業外損益	9	金融収支 ▲5、持分法投資損益 ▲15、為替差益 35、その他 ▲6
経常利益	67	

# 参考資料

---

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く



		17/3	18/3	19/3	20/3	21/3
売上高	億円	9,924	10,465	10,687	10,439	10,073
営業利益	億円	238	176	196	350	192
売上高営業利益率	%	2.4	1.7	1.8	3.4	1.9
当期純利益(損失) ※1	億円	84	78	▲352	142	32
EBITDA ※2	億円	836	801	846	978	869
総資産利益率(ROA) ※3	%	2.6	1.9	2.2	2.7	1.3
純有利子負債	億円	5,880	6,346	6,252	6,371	7,591
調整後ネットD/Eレシオ ※4	倍	1.49	1.61	1.76	1.75	1.86
一株当たり当期純利益(損失)	円	72.57	67.80	-304.34	122.89	27.67
一株当たり配当金	円	60	60	30	40	40
正規従業員数	人	13,057	12,881	12,943	12,592	16,156

※1：親会社株主に帰属する当期純利益（損失）

※2：EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 受取配当金 + 受取利息 + のれん償却

※3：ROA = (経常利益 + 支払利息) / 総資産

※4：調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債：ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）

(単位：千 t)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比
新聞用紙	818	700	▲14.4%
印刷用紙	1,446	1,185	▲18.0%
情報用紙	491	435	▲11.3%
その他	362	310	▲14.4%
国内	3,116	2,630	▲15.6%
輸出	309	234	▲24.5%
<b>洋紙合計</b>	<b>3,425</b>	<b>2,864</b>	<b>▲16.4%</b>
段ボール原紙	1,614	1,601	▲0.8%
紙器用板紙他	344	308	▲10.4%
国内	1,958	1,909	▲2.5%
輸出	184	184	0.4%
<b>板紙合計</b>	<b>2,141</b>	<b>2,093</b>	<b>▲2.2%</b>
<b>洋紙・板紙合計</b>	<b>5,567</b>	<b>4,957</b>	<b>▲11.0%</b>

\* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

(単位：億円)

	2020年度				2020年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期実績	下期実績	通期実績
紙・板紙	1,347	1,378	1,489	1,469	2,725	2,958	5,683
生活関連	633	772	917	857	1,405	1,774	3,179
エネルギー	76	88	77	93	164	170	334
木材・建材・ 土木建設関連	124	131	161	183	255	344	599
その他	58	67	71	82	125	153	278
取得関連費用	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,238	2,437	2,714	2,684	4,674	5,399	10,073

# セグメント別 営業利益推移

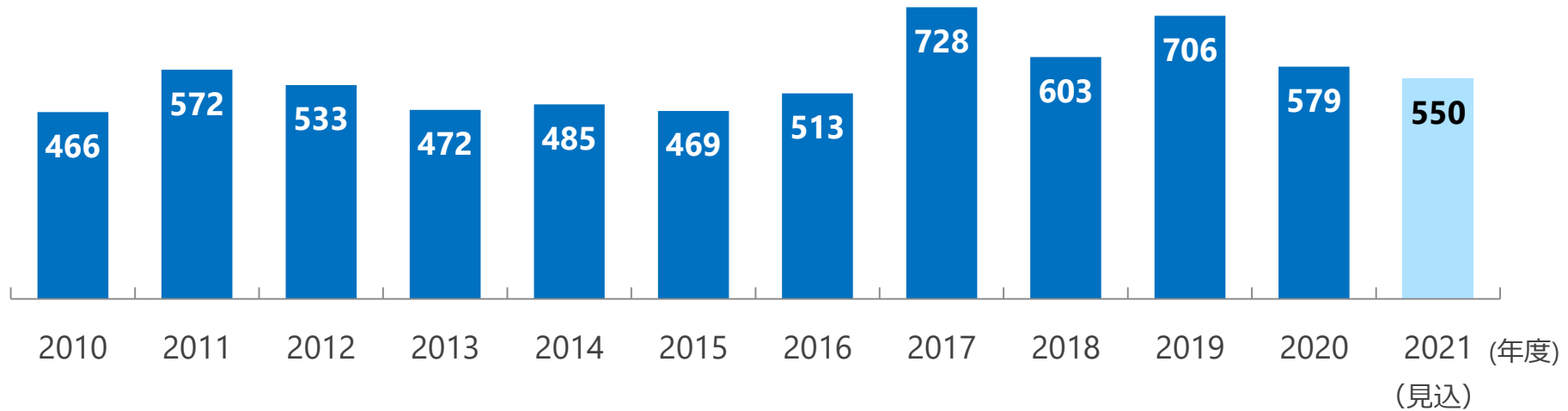


(単位：億円)

	2020年度				2020年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期実績	下期実績	通期実績
紙・板紙	▲11	▲9	18	27	▲20	45	25
生活関連	30	30	8	11	60	19	79
エネルギー	14	20	18	17	34	35	69
木材・建材・ 土木建設関連	11	13	14	27	24	41	65
その他	▲1	1	10	4	0	14	14
取得関連費用	—	▲58	▲1	▲1	▲58	▲2	▲60
合計	43	▲3	67	85	40	152	192

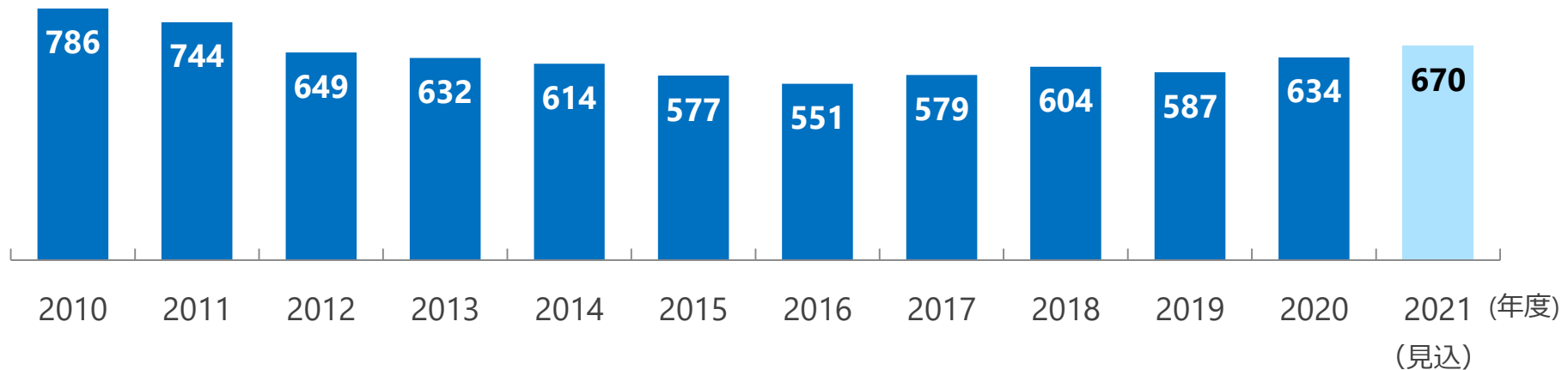
## 設備投資額

(単位：億円)



## 減価償却費

(単位：億円)



(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比
営業活動によるキャッシュフロー	670	842	172
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 701	▲ 1,829	▲ 1,128
フリーキャッシュフロー	▲ 31	▲ 987	▲ 956
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 74	1,137	1,211
その他	▲ 1	19	20
現金及び現金同等物の増減額	▲ 106	169	275
現金及び現金同等物の期末残高	528	697	169
減価償却費	587	634	47
設備投資額	706	579	▲ 127

## 紙・板紙の出荷量と輸出入

### <2021年3月期 国内メーカー実績>

(数量：千t)

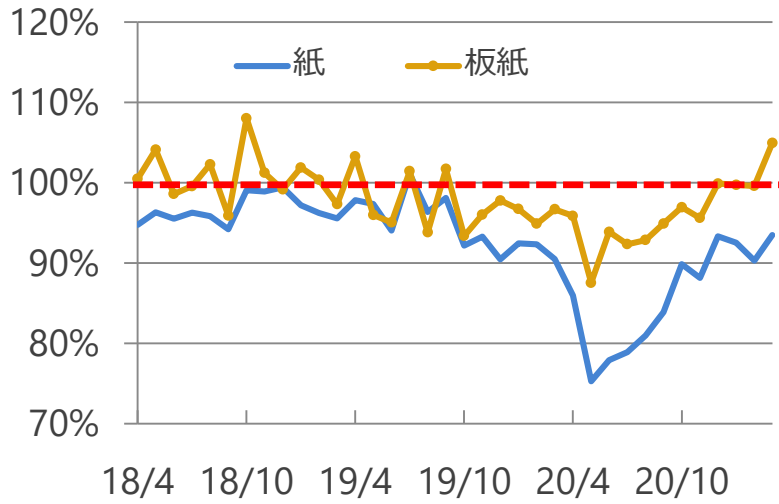
	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入	
	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)	数量	(前期比)
新聞用紙	2,044	▲13.0%	0	—	2,044	▲13.0%	2	15.2%
印刷・情報用紙	5,473	▲17.6%	437	▲18.9%	5,910	▲17.7%	703	▲27.7%
塗工印刷用紙※	2,843	▲20.8%	325	▲20.3%	3,168	▲20.8%	225	▲50.5%
非塗工印刷用紙	1,503	▲13.9%	86	▲15.7%	1,589	▲14.0%	41	▲24.4%
情報用紙	1,127	▲13.7%	26	▲12.1%	1,153	▲13.6%	437	▲5.8%
その他	2,956	▲7.9%	292	▲3.6%	3,248	▲7.5%	46	▲14.7%
洋紙 合計	10,473	▲14.2%	729	▲13.4%	11,202	▲14.1%	752	▲26.9%
段ボール原紙	8,837	▲2.3%	949	71.3%	9,785	2.0%	36	▲15.6%
紙器用板紙他	1,934	▲10.3%	38	50.2%	1,973	▲9.6%	231	▲13.4%
板紙 合計	10,771	▲3.8%	987	70.4%	11,758	▲0.2%	267	▲13.7%
紙・板紙合計	21,244	▲9.2%	1,716	20.7%	22,960	▲7.5%	1,019	▲23.9%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

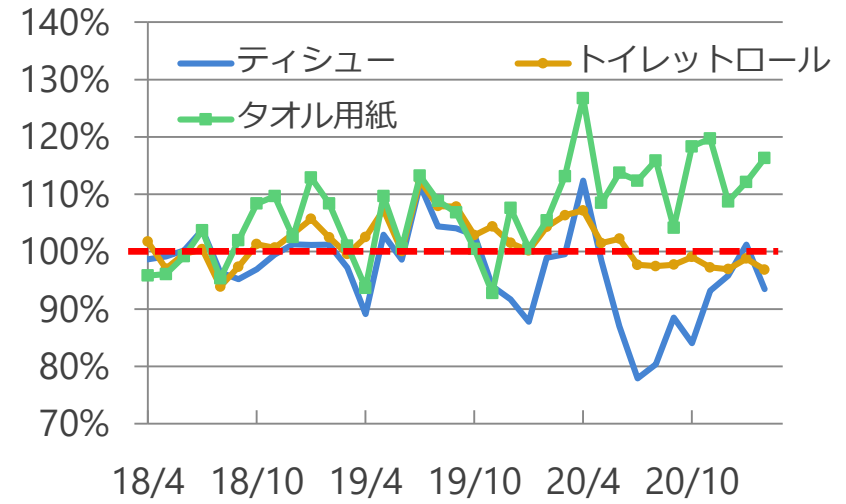
出所：日本製紙連合会、財務省貿易統計



## メーカー国内出荷量(対前年)



## 衛生用紙生産高(対前年)



## 塗工紙輸入推移



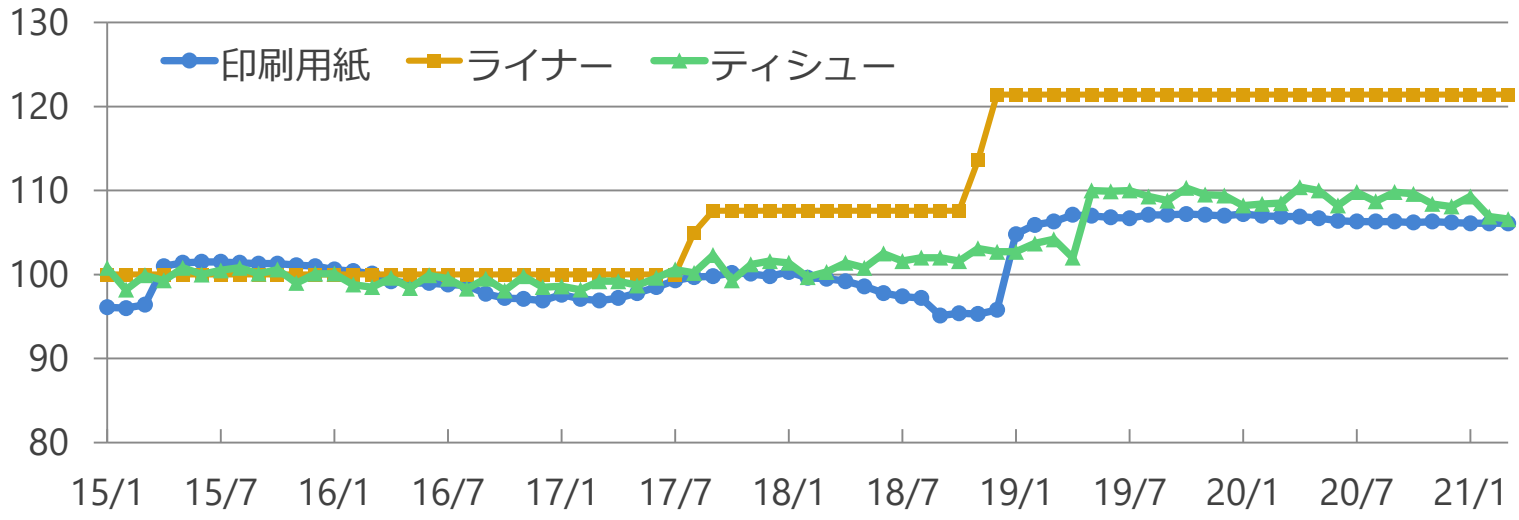
## PPC用紙輸入推移





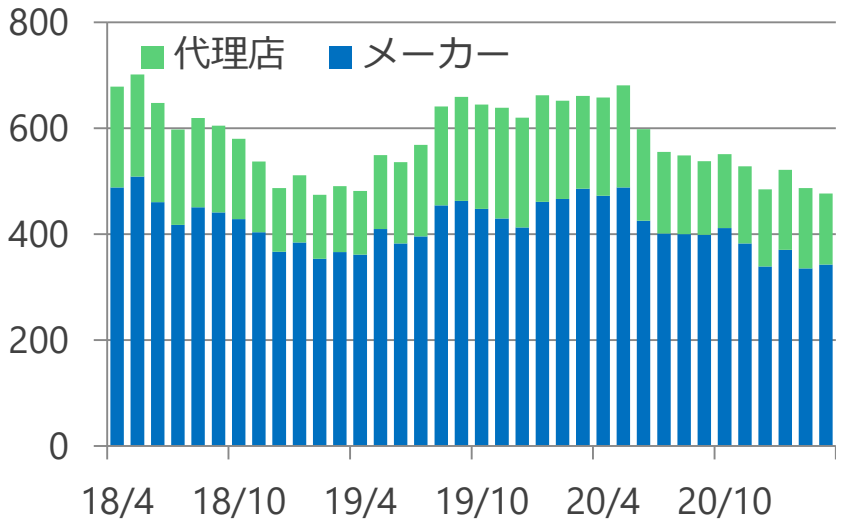
## 品種別価格動向

(2015年 = 100)



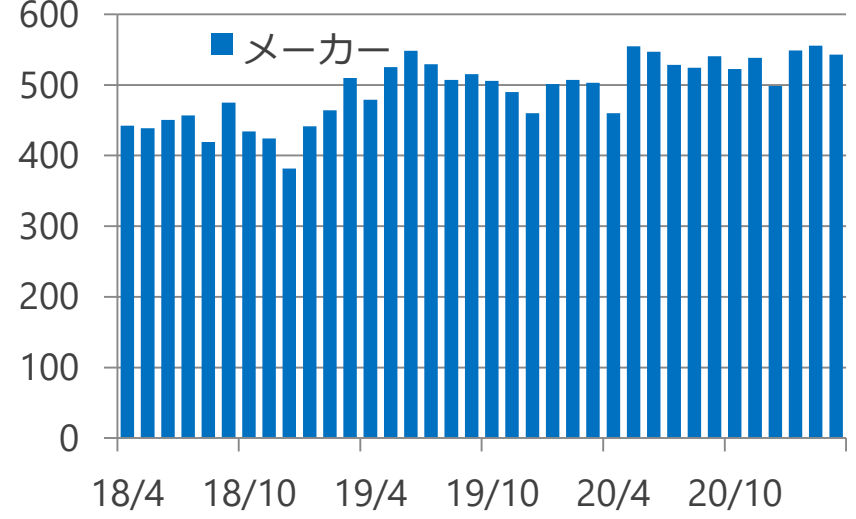
## 塗工紙在庫高推移

(千 t)



## 段原紙在庫高推移

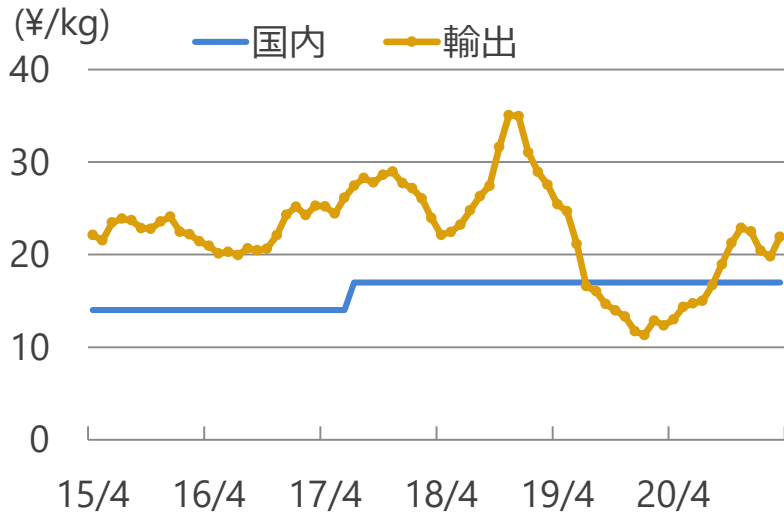
(千 t)



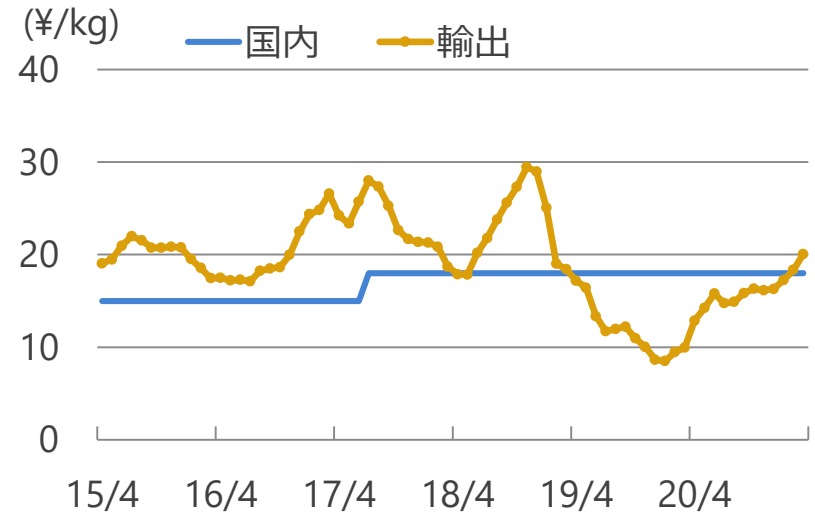
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」



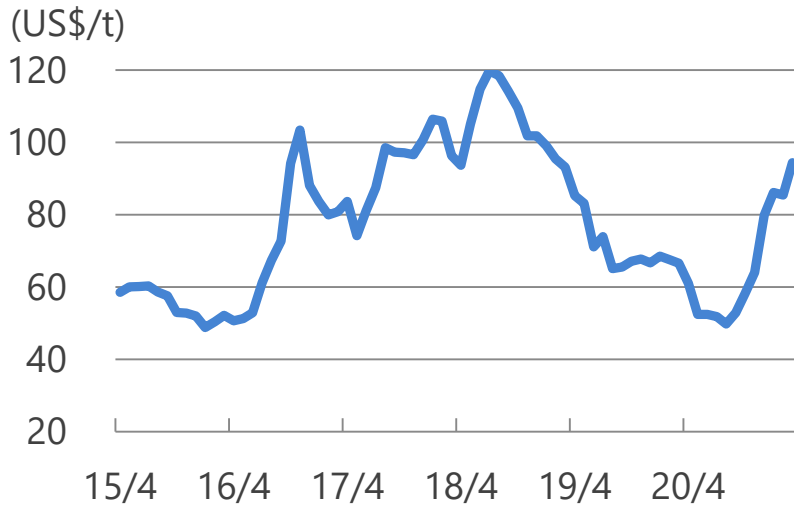
## 新聞古紙



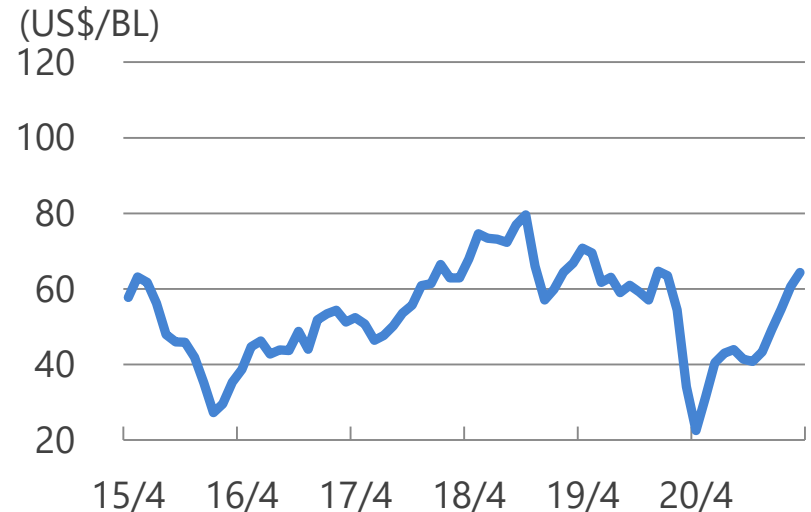
## 段ボール古紙



## 石炭



## 原油



# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## ＜注意事項＞

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 日本製紙株式会社